

**政策1 「健康で安全・安心に暮らせるまち」**

「安全」をキーワードとした意見が多かったことと、健康・医療分野での「安心」に関する意見も多かったことから、これらを統合して「健康で安全・安心に暮らせるまち」という大きな政策の柱とした。

**政策2 「人にやさしい思いやりのあるまち」**

健康・医療の分野を切り分けたこと、障害者、子育て分野での重要度と満足度の乖離があったことから、福祉部の分野で一つの括りとし、「人にやさしい思いやりのあるまち」とした。新たに「セーフティネット」の施策を設けた。

**政策3 「環境にやさしい自然が豊かなまち」**

環境部の分野となるが、震災以降、省エネ・新エネの更なる推進が必要となったことから、「環境にやさしい自然が豊かなまち」とした。

**政策4 「人が集い活力ある産業が育つまち」**

産業振興部の分野となるが、農業分野に偏っていた施策を農・商・工とわかりやすく分類するとともに、総合戦略でも重視している「就労・雇用」という施策、そして「観光」、「産学連携」、「企業支援と誘致」という施策を設け、「人が集い活力ある産業が育つまち」とした。

**政策5 「快適で暮らしやすいまち」**

9つの施策だったものを分かりやすく6つに分類し、重要度が低いとされた「市営住宅」は施策から除外した。

**政策6 「人を育む教育・文化・スポーツのまち」**

学校教育から生涯学習まで教育全般を含むという点に変更ありません。新たに「文化財」という施策を設けた。

**政策7 「市民と行政が協働して創る満足度の高いまち」**

現総振の「市民と行政が協働するまち」は具体的な事業がイメージしにくいようで、市民の認知度が非常に低いものだった。しかし、行政の補完となり得る協働は、今後も重要であることから、行財政の分野と統合し、「市民と行政が協働して創る満足度の高いまち」とした。新たに「アセットマネジメント」、「人材育成」という施策を追加した。

なお、現総振の政策1「魅力ある郷土をほこれるまち」は施策を分割し、それぞれ産業の分野と教育の分野へ統合した。

## リーディング・プロジェクトについて

### ①シティプロモーション

市の発展のためには情報発信が重要であり、まだ発信する力が弱いという声も多い。今後、観光や転入促進など、市外の人をターゲットとする際には熊谷市を知ってもらうことが大前提となる。また、今後を担う若い世代からは自分が住む熊谷市に誇りを持ちたいという声が多かったことから、リーディングの項目とした。

### ②ラグビーワールドカップ2019

ラグビーワールドカップが本市で開催されるため、ファンゾーンの整備や、シティドレッシング、アクセス道路整備など、この大会の成功に向けた取組に注力する必要がある。また、ワールドカップ開催をレガシーとしてラグビータウンという視点からのまちづくりを更に推進するため、リーディングの項目とした。

### ③観光・スポーツツーリズム

RWC開催に向けて会場となるスポーツ文化公園やその周辺、駅前広場等が整備される。また、会場までの公共交通なども整備されることから、これら大会のレガシーを利活用するとともに、スポーツ・文化村も全面オープンすることから、新観光協会と連携しスポーツツーリズムを進め、観光客の誘致、交流人口の増加を図るため、リーディングの項目とした。

### ④暑さ対策日本一

トップランナー賞を4度受賞するなど、名実ともに暑さ対策日本一となったが、市民の健康を守ることは重要であり、引き続きトップランナーを維持できるよう様々な対策を進めていく必要がある。暑さ対策の必要性が全国的なものとなった現在、本市の先進性は独自のアピールポイントだと考え、リーディングの項目とした。

### ⑤子育て応援

市の活力を維持していくためには、人口増が必要となる。特に若い世代を増やすためには、引き続き子育て支援策を推進する必要がある。市内で産んで育ててもらふこと、また子育てしやすい街ということで市内への転入を促進する必要があることから、リーディングの項目とした。

### ⑥まちなかのへの賑わい創出

北部拠点については、平成29年度からの埼玉県5か年計画大綱にも記載されているところであり、北部拠点を核として中心市街地への賑わい創出を図るため、リーディングの項目とした。

### ⑦アセットマネジメント

今後のまちづくりに当たっては、40年計画であるアセットマネジメントの基本方針や基本計画、またそれをベースとした個別計画と整合性を図る必要がある。学校や公民館、支所などの公共施設の統廃合は、直接まちづくりに影響するものとなるため、リーディングの項目とした。

### ⑧東部地域開発

次期計画期間内で、池上地区ほ場整備、道の駅、佐谷田新駅エリアの開発などが実施されるため、リーディングの項目とした。